

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本12月機械受注)

2019/2/18

りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

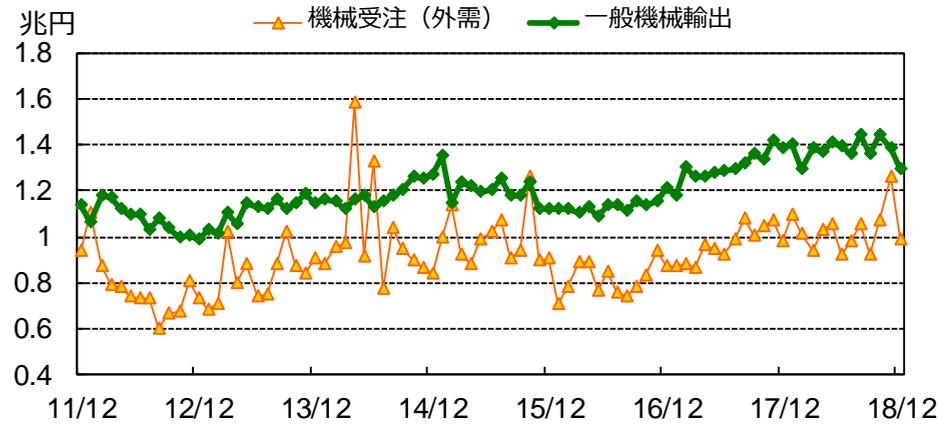
- ◆12月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比▲0.1%
- ◆1-3月期は▲1.8%の見通し
- ◆内閣府は受注判断を「足踏みがみられる」と下方修正

- ✓ 12月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比▲0.1%の8,626億円と、市場予想（▲1.0%）は上回った(11月+0.0%の8,631億円)。10-12月期も前期比▲4.2%と減少した。12月は海外経済減速が意識され、製造業中心に外部環境悪化による慎重な業績見通しが設備投資の動向に影響したとみられる。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「足踏みがみられる」と下方修正。尚、12月時点の民需コア1-3月期の受注見通しでは▲1.8%と減少が見込まれている(10-12月期+3.6%)。
- ✓ 12月の受注総額は前月比▲18.6%の2兆3,207億円(11月+8.3%の2兆8,506億円)。
- ✓ 製造業は▲8.5%の3,618億円(11月▲6.4%の3,957億円)と減少。業種別では17業種中11業種が減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+6.8%の4,966億円(11月+2.5%の4,650億円)と増加。非製造業全体の業種別では12業種中8業種が増加。
- ✓ 官公需は▲14.8%の2,257億円(11月▲26.8%の2,649億円)と減少。地方公務、国家公務等が減少。
- ✓ 外需は▲21.9%の9,874億円(11月+18.5%の1兆2,649億円)と減少。産業機械、船舶等が減少。
- ✓ 代理店経由は▲1.0%の1,277億円(11月▲4.0%の1,291億円)と減少。産業機械、重電機等が減少。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。